

## ボランティアさん 大募集



弦打地区社会福祉協議会 会長 後藤 正徳

新年あけましておめでとうございます。

日頃は、当協議会の各事業に格別のご支援とご協力を頂きありがとうございます。

当協議会は、平成二十九年に新たに子育て二事業の支援を始めました。未就園児と母親対象のつるピー広場、小学生対象のつるピー放課後教室です。ともにボランティアの協力で順調に推移しています。

また、平成二十八年十月から始まった新しい総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に対応するため、コミュニティ協議会で了承のもと地区内各種団体の協力で地域福祉ネットワーク会議が始まり、各自治会の協力をいただき敬老会会員対象に「住みよいまちづくり」のためのアンケート調査が行われました。

調査結果では様々な要望が寄せられています。これを移行に移すのは多くのボランティアが必要ですが、当協議会は平成三十年に地区内各種団体の事業実施を支えるべく人材バンク事業の開始準備を進めています。是非ご理解をいただき、多くの方々の参加をお願いいたします。

## 新年のご挨拶



弦打校区連合自治会 副会長 植本 十七美

新年、あけましておめでとうございます。

地域の皆様には連合自治会の活動にご協力とご理解を賜り厚く感謝申し上げます。

弦打地区社会福祉協議会関係者の皆様方による様々な事業活動で地域の福祉向上が図れている事、お礼申し上げます。

さて、私達を取り巻く環境は大きく変化しております。想定外の自然災害の日常化、超高齢化社会での年金、医療費、介護保険の財政負担の増大等で日本沈没が囁かれています。

年初にあたり皆様方には昨年発行しました『弦打防災・福祉マップ』を活用し、わが家の危険度、地区の危険度を知り、災害発生時の連絡方法・避難先等を取り決めておかれると安心です。防災の基本は（自助）です。

地震災害に備えては、まず家具などの固定から行って下さい。自分の身を守ることから始め、次に家族、そしてお隣さんと拡大して行くことです。

防災マップを活用して頂き、減災対策を立案されることを切望します。

弦打地区は、長年の夢であった木太・鬼無線開通で、大きな変化が起ると予測されます。地区の様々な課題を解決すべく、住民の皆様のご支援とご協力を頂き、一つ一つ課題解決に取り組んでゆきたいと思っております。本年が皆様方にとって、良い年でありますように願っております。